

## 5 危機管理調整システムを深く理解し、応用するために

研究班では、わが国保健所において事例を積み重ねて議論しながら日本版標準保健所危機管理調整システムを皆で作りに上げていくイメージを持っております。医師を始めとする専門職種が現場に組織化されている強みを活かせるかどうか、保健所の底力を見せられるかどうかの正念場とも考えます。そこで危機管理調整を理解するための4つの柱のうち、「法的根拠から入る」、「理論から入る ICS(入門編)」、「AC から入る」の3つを経て、さらに深く系統的に理解した上で応用するための資料集を作りました。是非これをご活用いただき、今後保健所での応用事例を検討しながら前進したいと考えます。そのためには全国保健所・保健所長のご協力が欠かせません。是非ご協力をよろしく願います。

平成 26 年度地域保健総合推進事業

「健康危機管理機能充実のための保健所を拠点とした連携強化事業」(古屋班)

### 【日本語の文献・書籍】

#### 1) 報告書・文献(日本版標準 ICS)

- ・研究代表者 多田羅浩三. 平成 23 年度厚生労働科学研究費補助金(健康安全・危機管理対策総合研究事業)「地域健康安全・危機管理システムの機能評価及び質の改善に関する研究」報告書及び報告書別冊.
- ・研究代表者 多田羅浩三. 平成 24 年度厚生労働科学研究費補助金(健康安全・危機管理対策総合研究事業)「地域健康安全・危機管理システムの機能評価及び質の改善に関する研究」報告書.
- ・研究代表者 多田羅浩三. 平成 23-24 年度厚生労働科学研究費補助金(健康安全・危機管理対策総合研究事業)「地域健康安全・危機管理システムの機能評価及び質の改善に関する研究」総合報告書.
- ・分担事業者 中瀬克己. 平成 25 年度地域保健総合推進事業「健康危機における保健所の調整機能の強化に関する研究」報告書。(印刷中)
- ・佐々木隆一郎:大規模災害における保健所の役割. J. Natl. Inst. Public Health 2013;62(4):421-427.
- ・公衆衛生情報 2013 年 12 月号 - 2014 年 3 月号. 保健所活動最前線 (多田羅班).
- ・公衆衛生情報 2014 年 4 月号 - 12 月号. 過去の事例から学ぶ健康危機管理事例.

#### 2) 書籍

- ・緊急時総合調整システム ICS 基本ガイドブック. 日本医師会、東京. 2014.  
<http://www.tkhs.co.jp/book/detail.html?id=219243&itemid=219243>
- ・林晴男. シリーズ ISO 22320 について学ぶ. リスク対策.com  
[http://www.risktaisaku.com/sys/series/?page\\_id=173](http://www.risktaisaku.com/sys/series/?page_id=173)

#### 3) 先進地域の取組

- ・別添 5-1, 5-2、<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130112/kikikanri-manual.html>
- ・大阪府保健所災害対策標準マニュアル(ただし、内容は非公開)

### 【国の検討状況、テキスト等】

4) 内閣府災害対策標準化検討会議。同時に、関係省庁の担当者の会議が定期的に行われ、平成 25 年度開始、平成 26 年度も継続。

- ・災害対策標準化検討会議

<http://www.bousai.go.jp/kaigirep/kentokai/kentokaigi/index.html>

この検討会を1枚で示した資料(PDF13 ページ 災害対応業務標準化の推進)

[http://www.bousai.go.jp/taisaku/yosan/pdf/26\\_yosan\\_1224.pdf](http://www.bousai.go.jp/taisaku/yosan/pdf/26_yosan_1224.pdf)

・内閣府防災担当が示している防災に関する標準テキスト。

・[http://www.bousai.go.jp/taisaku/jinzai/hyojyun\\_text.html](http://www.bousai.go.jp/taisaku/jinzai/hyojyun_text.html)

・[http://www.bousai.go.jp/taisaku/jinzai/pdf/hyojyun\\_text\\_zentai.pdf](http://www.bousai.go.jp/taisaku/jinzai/pdf/hyojyun_text_zentai.pdf)

防災に関する標準テキスト(平成 19 年 3 月)

【米国、国際標準化への動向】

5)米国、カリフォルニア州の動向

・米国のインシデント・コマンド・システム(ICS) . <http://www.fema.gov/incident-command-system>

・FEMA による教材

<https://training.fema.gov/IS/NIMS.aspx>

<http://emilms.fema.gov/IS100b/indexMenu.htm>

・ASPR(The U.S. Department of Health & Human Services Office of the Assistant Secretary for Preparedness and Response, Hospital Preparedness Program)による National Guidance for Healthcare System Preparedness(2012 年 1 月)。

<http://www.phe.gov/preparedness/planning/hpp/reports/documents/capabilities.pdf>

・Medical and Health Incident Management (MaHIM) System

A Comprehensive ICS Response Organization for Mass Casualty and Mass Effect Incidents

Draft V4 Report - January 2010

・ California Public Health and Medical Emergency Operations Manual.

[http://www.emsa.ca.gov/Media/Default/PDF/EOM712011\(2\).pdf](http://www.emsa.ca.gov/Media/Default/PDF/EOM712011(2).pdf)

6)ISO (社会セキュリティの国際標準規格の動向)

・ISO TC223:ISO TC223(国際標準化機構 TC223 委員会)。

[http://www.iso.org/iso/iso\\_technical\\_committee%3Fcomid%3D295786](http://www.iso.org/iso/iso_technical_committee%3Fcomid%3D295786)

【スフィア・プロジェクト】

7)人道憲章と人道対応に関する最低基準

共通の最低基準: 参画、初期評価、対応、援助対象、モニタリング、事業評価、援助職員の資質と責任、人員の監督管理  
-給水/衛生、食料/栄養、居所、食餌以外の物品、保健サービス

[http://www.refugee.or.jp/sphere/The\\_Sphere\\_Project\\_Handbook\\_2011\\_J.pdf](http://www.refugee.or.jp/sphere/The_Sphere_Project_Handbook_2011_J.pdf)

8) その他

・大阪府救急医療機関災害対応標準マニュアル(平成 23 年 3 月大阪府医師会)

[www.osaka.med.or.jp/member/format/saigai-0003.doc](http://www.osaka.med.or.jp/member/format/saigai-0003.doc)

・救急救命高度化推進に関する調査研究事業報告(アクション・カード活用事例)

<http://www.fasd.or.jp/kikanshi/kikanshipdf/no32s.pdf> 26-29 ページ参照

<http://www.fasd.or.jp/tyousa/pdf/25action.pdf>